RICOH

imagio

MP C5002/C4002/ C3302/C2802シリーズ

使用説明書

〈PostScript 3〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. PostScript 3 とは

PostScript 3 は、アドビシステムズ社が開発したページ記述言語です。

PostScript 3 を使用すると、プリンターはパソコンから送られるこのページ記述言語による印刷指示を受け取って解釈し、適切に印刷できるようになります。

PostScript 3 は Windows および Macintosh のどちらの環境でも使用できます。

PostScript 3 使用上のご注意

メモリーについて

- 容量の大きなデータや複雑なデータを印刷した場合、本機のメモリー容量が不足して、動作が不安定になったり印刷できなくなったりすることがあります。このようなときは、送信データを減らしたり、送信データの解像度を低く設定してください。

フォントについて

- Type1 フォントは Adobe Type1 font format(1.1)に準拠しています。ただし、アウトラインが自己干渉するようにデザインされた文字は、正しく印刷されないことがあります。
- ヒント情報を持たない文字をアプリケーションからダウンロードして利用する場合、拡大、縮小などによって文字が途切れて印刷される場合があります。
- 本機の PostScript 3 に搭載されている和文フォントは、「平成角ゴシック W5」および「平成明朝 W3」です。Mac OS X 標準フォントをプリンターフォントに代替するときは、以下の表を参考に指定してください。

Mac OS X 標準フォント	プリンターフォント
Osaka	平成角ゴシック W5
Osaka 等幅	平成角ゴシック W5
平成角ゴシック	平成角ゴシック W5
平成明朝	平成明朝 W3
ヒラギノ角ゴシック	平成角ゴシック W5
ヒラギノ丸ゴシック	平成角ゴシック W5
ヒラギノ明朝	平成明朝 W3

  - 和文フォントのオプションとして、JIS2004 対応フォントの 2 書体（HG 明朝 L、HG ゴシック B）を用意しています。

その他

- アプリケーションによっては、PostScript ドライバーを使用するとプレビューどおりに出力できないものがあります。

1

- 奇数ページで終わる印刷データで両面印刷を指定した場合、PostScript ドライバーとアプリケーションとの組み合わせによっては、自動的に白紙ページが追加される場合があります。自動的に追加される白紙ページは、モノクロ 1 ページとしてカウントされます。
- 細線を印刷する場合、線が思いどおりに描画されないことがあります。また、線の太さや色合いにばらつきが生じることがあります。
- 不定形サイズで「297×418.4 mm」を超えるサイズを指定して印刷すると A3 サイズとしてカウントされます。課金オプションなどを使用している場合にはご注意ください。

エミュレーションカードについて

本機で PostScript 3 を使用するには、拡張エミュレーションの取り付けが必要です。エミュレーションの SD カードの取り付けについては、サービス実施店にご相談ください。

PostScript 3 ドライバーでできること

PostScript 3 プリンタードライバーは、さまざまな用途に合わせて印刷することができます。ここでは主な機能について説明します。

特殊な用紙に印刷する

厚紙や特殊紙など、普通紙/再生紙以外の用紙にも印刷できます。

不定形サイズの用紙に印刷する

用紙のサイズを指定して不定形の用紙に印刷できます。よく使う用紙サイズはドライバーに登録できます。

複数のページを集約して印刷する

複数のページを縮小して 1 ページにまとめて印刷できます。両面印刷と組み合わせることによって、使用する用紙を抑えることができます。

製本できるレイアウトで印刷する

原稿が自動的に半分に縮小され、1 枚の用紙の左右に製本するようなレイアウトで両面印刷されます。また、ページの配列を「右開き/下開き」または「左開き/上開き」に指定できます。

画像の向きを変えて印刷する

向きのある用紙に印刷する場合は、用紙の向きに合わせて画像を 180 度回転させて印刷できます。また、画像を左右反転させて印刷することもできます。

部単位で印刷する（ソート）

会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。

バナーページを印刷する

指定した給紙トレイからバナーページを印刷します。ジョブが印刷される前にバナーページを挿入することで、文書の取り違いを防止します。バナーページにはパソコンのログインユーザー名、ジョブ名、ホスト名、印刷日時が印刷されます。

バナーページ印刷の制約事項については、P.35「バナーページ印刷時のご注意」を参照してください。

ステープル／パンチする

フィニッシャーを使って文書を一部ごとに綴じたり、パンチ穴を開けたりできます。

印刷品質を調整して印刷する

ディザリングの処理方法や解像度の設定など、各設定を変更することによって印刷の仕上がりを調整できます。

- ディザパターンを変更する

  ディザとは物理的に再現できない色や濃淡を、細かいドット（点）の集まりとして擬似的に表現する技術のことです。ディザパターンは擬似的な表現を行うためのドットを作り出す元となるデータのことで、このデータを変えることによ

り、疑似表現の特性を変えることができます。実際に印刷する画像に合ったパターンを選択できます。

- カラーマッチングのパターンを変更する

 ディスプレイ上の色は RGB の 3 色で表現されますが、本機からは CMYK の 4 色で印刷されます。そのため、印刷時には RGB カラーから CMYK カラーへの変換を行う必要があります。カラー変換時に使用するパターンを変更することで、ディスプレイ上の色に対する印刷時の色合いを調整できます。

- 黒色の印刷方法を設定する

 印刷ジョブの黒またはグレー部分の印刷方法を、黒 1 色で印刷するか、CMYK で印刷するか設定できます。また、カラーの背景に黒い文字や画像を印刷する場合、黒い部分を背景色に重ねて印刷（ブラックオーバープリント）することもできます。

- 曲線を滑らかに印刷する

 イメージスムージング処理によって、ギザギザした曲線を滑らかにして印刷できます。

文書を蓄積して印刷する

本機のハードディスクに印刷ジョブを蓄積して、あとから操作部や Web Image Monitor で印刷できます。最初に一部だけ印刷して仕上がりを確認できる「試し印刷」や、パスワードによって文書の閲覧を制限できる「機密印刷」などがあります。

また、通常の印刷ジョブを自動的に蓄積させることで、放置プリントの抑止にもつながります。印刷ジョブの制限について詳しくは、『プリンター』「文書の放置を防止する」を参照してください。

スタンプ印字を使って印刷する

作成した文書にスタンプ印字を入れて印刷できます。オリジナルのスタンプ印字の作成や既存のスタンプ印字を編集することができます。

不正コピーを抑止する

不正コピーガードまたは不正コピー抑止地紋を使って不正コピーを抑止します。

- 不正コピー抑止地紋

 不正コピー抑止の文字列地紋や背景地紋を付けて印刷します。印刷した文書をコピーやスキャン、またはドキュメントボックスへ蓄積すると、地紋効果で文字列が浮き出るため、容易な不正コピーを抑止できます。

- 不正コピーガード

 この機能を使用して出力した印刷用紙を、不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機でコピーやスキャン、またはドキュメントボックスに蓄積すると、画像を抹消しグレー地にします。

トナーを節約して印刷する

以下の設定、印刷方法によってトナーを節約できます。

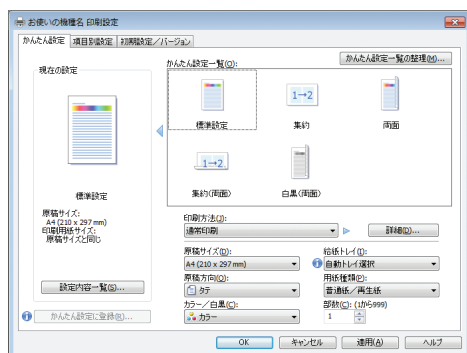
- トナーセーブモードを有効に設定します。
- ブラックのトナーのみを使ってカラーの画像をモノクロで印刷します。
- カラー印刷に使用されるシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色から、指定した色だけを使って印刷します。

補足

- Windows でお使いの場合、印刷方法や印刷設定について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- Windows でお使いの場合、ヘルプの表示方法については、『プリンター』「ヘルプを表示する」を参照してください。
- Macintosh でお使いの場合、印刷方法や印刷設定について詳しくは、P.13「Macintosh で使う」を参照してください。
- 不正コピー抑止機能を使うには、オプションの不正コピーガードモジュールが必要です。

2. Windows で使う

Windows で印刷するための準備

1. 本機に同梱の CD-ROM から、プリンタードライバーをインストールします。
2. 追加したオプション機器の設定と給紙トレイの用紙サイズ、用紙方向を設定します。
3. プリンタードライバーの設定画面を表示し、印刷の詳細を設定します。

補足

- Windows の機能および操作については、Windows のヘルプを参照してください。
- プリンタードライバーのインストール手順やオプションの設定については、『ドライバーインストールガイド』「プリンタードライバーをインストールする」を参照してください。
- プリンタードライバーのプロパティ画面と印刷設定画面の開き方については、『プリンター』「プリンタードライバーの設定画面を開く」を参照してください。

かんたん設定

かんたん設定とは、印刷のときに指定するさまざまな設定内容を、「かんたん設定」として登録できる機能です。次の印刷からは、登録した設定を指定するだけで、登録した設定が適用されます。

2

補足

- 詳しい設定内容や項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ヘルプの表示については、『プリンター』「ヘルプを表示する」を参照してください。
- プリンタードライバーの印刷設定画面の開き方については、『プリンター』「印刷設定画面を開く」を参照してください。

かんたん設定に登録する

1. **プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**
2. **[かんたん設定]タブをクリックし、登録のベースとなるかんたん設定を選択します。**
3. **設定を変更します。必要に応じて、[項目別設定]タブの設定も変更できます。**

   次の設定は登録されません：ユーザー ID、ファイル名、パスワード、ユーザーコード、スタンプ印字の設定（「スタンプ印字を使用」の指定と「スタンプ印字名」の選択を除く）
4. **[かんたん設定に登録...]をクリックします。**
5. **登録する設定の名称とコメントを入力します。**
6. **[OK]をクリックしてダイアログを閉じます。**

かんたん設定の内容をファイルとして保存する

1. **プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**
2. **[かんたん設定]タブをクリックします。**
3. **[かんたん設定一覧の整理...]をクリックします。**
4. **[かんたん設定一覧：]から保存したい設定を選択し、[設定の保存...]をクリックします。**
5. **ファイル名を入力し、[保存]をクリックします。**

   設定ファイルの拡張子は「.json」になります。

6. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

かんたん設定を削除する

1. プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. [かんたん設定] タブをクリックします。
3. [かんたん設定一覧の整理...] をクリックします。
4. [かんたん設定一覧:] から削除したい設定を選択し、[削除] をクリックします。

   あらかじめ登録されているかんたん設定は削除できません。
5. 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。
6. [OK] をクリックしてダイアログを閉じます。

3. Macintosh で使う

Macintosh で印刷するための準備

1. 本機に同梱の CD-ROM から、必要なプリンタードライバーおよびファイルをインストールします。
2. プリンタードライバーでオプションを設定します。
3. 用紙サイズや印刷枚数、プリンターの機能など、印刷の詳細を設定します。

補足

- Macintosh の機能および操作については、Macintosh のヘルプを参照してください。
- プリンタードライバーのインストール手順やオプションの設定については、『ドライバーインストールガイド』「Mac OS X にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

用紙の設定と印刷の設定

用紙に関する設定、印刷に関する設定を行うためのダイアログを表示する方法を説明します。

本書では、Mac OS X 10.6 を例に説明しています。

用紙の設定を表示する

3

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックします。
3. ［対象プリンタ：］でお使いの機種を選択します。
4. 用紙サイズや用紙の向きを設定します。

5. 設定が完了したら［OK］をクリックします。

補足

- 用紙設定のダイアログは、使用するアプリケーションによって異なります。設定内容については Macintosh の使用説明書またはヘルプを参照してください。
- 「(フル)」付きの用紙を選択できる機種の場合、余白なしの用紙サイズで印刷できます。ただし、機器の設定によっては、実際の印刷結果に余白が入る場合があります。

印刷の設定を表示する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。

3. ［プリンタ：］でお使いの機種を選択します。

4. 印刷する場合は［プリント］をクリックします。

- 印刷設定のダイアログは、お使いの機種や使用するアプリケーションによって異なります。印刷に関する一般的な機能については、Macintosh の使用説明書またはヘルプを参照してください。

印刷の設定項目

印刷で設定するカテゴリーを、ポップアップメニューから選択します。

機器固有の機能を使って印刷する場合は、主に以下のカテゴリーで設定値を変更します。

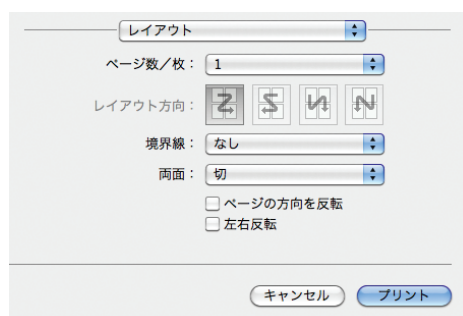
- ［レイアウト］：集約印刷や両面印刷の設定をします。
- ［蓄積/履歴］：蓄積文書印刷の設定をします。詳しくは、P.27「蓄積文書を印刷する」を参照してください。
- ［不正コピー抑止］：不正コピー抑止機能の設定をします。
- ［プリンタの機能］：機器固有の設定項目が集約されています。

ここでは、［レイアウト］、［不正コピー抑止］、［プリンタの機能］について説明します。

補足

- 印刷に関する一般的な機能や設定内容については、Macintosh の使用説明書またはヘルプを参照してください。
- ［給紙］または［給紙方法］の設定が「自動選択」の場合、ドライバーで指定した用紙サイズが機器にセットされていないときは、機器側の設定に従って印刷されます。

レイアウト

ポップアップメニューで［レイアウト］を選択すると表示されます。

1. **ページ数／枚：**

   1 枚の用紙に何ページ分のデータを印刷するか指定し、複数ページ印刷するときのレイアウトを指定します。

2. **境界線：**

   集約したページを仕切る線を印刷します。

3. **両面：**

   用紙の両面に印刷するかどうかと、用紙の綴じ方向を指定します。

不正コピー抑止

重要

- **不正コピー抑止は、必ずしも情報漏洩を防止するものではありません。**

ポップアップメニューで［不正コピー抑止］を選択すると表示されます。

まず、［不正コピー抑止の種類：］から抑止機能の種類を選択します。

- 不正コピー抑止地紋

  不正コピー抑止の文字列地紋や背景地紋を付けて印刷します。印刷した文書をコピーやスキャン、またはドキュメントボックスへ蓄積すると、地紋効果で文字列が浮き出るため、容易な不正コピーを抑止できます。

- 不正コピーガード

この機能を使用して出力した印刷用紙を、不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機でコピーやスキャン、またはドキュメントボックスに蓄積すると、画像を抹消しグレー地にします。

設定する項目に応じて、[抑止文字列]、[カラー/濃度]、[地紋］をクリックします。

1. **文字列の種類：**

   不正コピー抑止文字として印字する文字列をポップアップメニューから選択します。

2. **任意文字列の入力：**

   ［文字列の種類：］で「任意の文字列」を選択した場合は、印字する文字列を入力します。全角21 文字／半角 64 文字まで入力できます。

   印字フォントとして欧文フォントを選択するときは、半角の英数記号で入力してください。

3. **フォント：**

   フォントの種類を選択します。選択できるフォントは TrueType フォントです。

4. **サイズ：**

   フォントサイズを設定します。小さいフォントサイズを使用すると、地紋として効果的でない場合があります。地紋として効果的なフォントサイズは 50 ポイント以上で、70 から 80 ポイントをお勧めします。

5. **角度：**

   文字列の回転する角度を指定します。数字を大きくすると、文字列の中央を基点に反時計回りに回転します。地紋として効果的な角度として、30 から 40 度をお勧めします。

6. **文字列と背景の効果：**

   印刷時、コピー時の効果を設定します。

3

不正コピー抑止地紋の場合

	印刷時の効果	コピー時の効果
文字列・背景		
文字列地紋／背景地紋の入れ替え		
背景のみ		
文字列のみ		

不正コピーガードの場合

	印刷時の効果	コピー時の効果（不正コピーガード非搭載機）	コピー時の効果（不正コピーガード搭載機）
文字列・背景			
背景のみ			

7. 繰り返し印字：

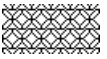
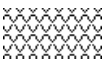
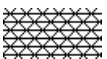
ページの左上を基点に文字列を縦横に並べて繰り返し印刷します。［位置:］の設定は無効になります。

8. 行間隔：

行間隔を設定します。

9. 位置：

不正コピー抑止文字列を挿入する位置をリストから選択します。

10. カラー：

不正コピー抑止地紋の色をリストから選択します。

11. 濃度：

濃度を設定します。

12. マスクパターン：

背景地紋を付けて印刷します。使用する地紋の種類を選択します。

青海波（せいがいは）	網目（あみめ）	格子 1（こうし 1）	格子 2（こうし 2）	七宝（しっぽう）
蜀江（しょっこう）	松皮菱（まつかわびし）	鱗（うろこ）	檜垣（ひがき）	亀甲（きっこう）

補足

- 地紋効果は、コピー、スキャン、ドキュメントボックスへの蓄積結果をすべて保証しているものではありません。また蓄積結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。
- 地紋効果は、コピーするときの原稿種類設定により、画質の一部に濃淡が発生することがあります。そのような場合は、原稿の種類を［文字］、または［写真］に切り替えてください。
- 不正コピーガードでは、［カラー/濃度］と［地紋］の設定はできません。
- 不正コピーガードを有効にするには、オプションの不正コピーガードモジュールが必要です。
- 機器の不正コピー抑止設定が有効の場合、常に不正コピー抑止の地紋や文字列を付与して印刷することができます。不正コピー抑止設定は、操作部または Web Image Monitor で設定できます。詳しくは、『セキュリティーガイド』「不正コピー抑止／不正コピーガード機能」または『プリンター』「複製できない文書を印刷する」を参照してください。

プリンタの機能

ポップアップメニューで［プリンタの機能］を選択すると表示されます。

［機能セット：］を切り替えることで、機能メニューが切り替わります。

3

1. 解像度：

解像度を設定します。

2. 印字モード：

トナーを節約して印刷する、トナーセーブモードを有効にできます。

3. フォント：

フォントを指定します。

4. イメージスムージング：

イメージスムージングの設定を選択します。

- 「しない」：イメージスムージングを行いません。
- 「する」：すべての画像にイメージスムージング処理を行います。
- 「自動」：機器のサポート解像度の、25%以下の解像度を持っている画像に対して、自動的にイメージスムージング処理を行います。
- 「90ppi～300ppi 未満」：選択した解像度（ピクセル/インチ）以下の画像に対して、イメージスムージング処理を行います。

「自動」を選択した場合は、印刷処理時間が長くなる場合があります。

マスクイメージにこの機能を適応する場合は、思うような印刷結果が得られない場合があります。

5. カラー選択：

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択します。

6. 画質：

印刷する際の画質を指定します。「標準」と「高画質」の設定は、[解像度：] を「1200dpi」に設定した場合に有効になります。

- 「2 階調」：600×600dpi 相当の解像度で印刷されます。
- 「標準」：2400×600dpi 相当の解像度で印刷されます。
- 「高画質」：9600×600dpi 相当の解像度で印刷されます。

7. RGB 補正：

RGB データを CMYK データに変換する際の補正方法を指定します。

- 「しない」：補正せずに CMYK に変換します。
- 「精密（普通)」：モニタガンマ 1.8 の設定を基準とし、カラープロファイルで選択したプロファイルを参照して CMYK に変換します。

- 「精密（濃いめ）」：モニタガンマ 2.2 の設定を基準とし、カラープロファイルで選択したプロファイルを参照して CMYK に変換します。

8. **カラープロファイル：**

RGB から CMYK へカラーマッチングする際のプロファイルを指定できます。［RGB 補正：］を「精密（普通）」または「精密（濃い目）」に設定した場合に参照されます。

- 「自動」：印刷する文書内の各要素（文字、イメージグラフィックス）に適したプロファイルを自動的に適応します。
- 「フォト」：写真画像など階調性を重視して出力したい場合に適しています。
- 「ビジネス」：文字やプレゼンテーション用のグラフィックスなどに適しています。
- 「ベタ」：グラフィックスやロゴなどで使用される原色の再現性を高めたい場合に適しています。
- 「POP 広告」：赤色をより鮮やかに印刷します。POP 広告に適した設定です。
- 「ユーザー設定」：印刷するデータに setcolorrendering オペレータが含まれる場合、その CRD を有効にしたい場合に設定します。

9. **画像モード：**

印刷する画像にあわせてディザパターンを指定できます。

- 「自動」：印刷する文書内の各要素（文字、イメージグラフィックス）ごとに適したディザパターンを自動的に適応します。
- 「写真」：写真に適したディザパターンを適用します。
- 「文字」：文字に適したディザパターンを適用します。
- 「ユーザー設定」：ハーフトーンを設定可能なアプリケーションからの印刷で、指定したハーフトーンを有効にしたい場合に設定します。

10. **グレー印刷方式：**

黒色を印刷する方式を選択します。文字、グラフィックスデータに有効です。

- 「黒とグレーは K で印刷」：黒色やグレーのテキストと画像を黒 1 色で印刷します。
- 「黒は K で印刷」：黒色のテキストと画像を黒 1 色で印刷します。
- 「CMYK4 色で印刷」：CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、黒）4 色で印刷します。
- 「黒とグレーは K で印刷（文字のみ）」：黒色やグレーのテキストのみを黒 1 色で印刷します。
- 「黒は K で印刷（文字のみ）」：黒色のテキストのみを黒 1 色で印刷します。

11. **ブラックオーバープリント：**

黒色をほかの色に重ねて印刷するかどうかを選択します。

オフを指定した場合、黒色が重なっているほかの色の部分は、分版すると白く抜けます。

12. **プリント色版：**

CMYK に色分解し、その中の特定の色の組み合わせで印刷します。

［カラー選択：］で「モノクロ」を選択しているときは指定できません。

13. **CMYK シミュレーション：**

CMYK データを出力する際にシミュレートするインクプロファイルを指定できます。

- 「しない」：シミュレーションを実施せずに印刷します。
- 「Euroscale」：欧州のオフセット印刷の色基準をシミュレートします。

- 「JapanColor」：日本の印刷の色基準をシミュレートします。
- 「JMPA」：雑誌広告の色基準をシミュレートします。

14. 用紙の種類：

用紙の種類を選択します。

15. 排出方法：

印刷した用紙を排出するトレイを指定します。

16. ステープル：

印刷した用紙をステープルするかどうか指定します。ステープルする場合は、ステープル位置を選択します。

17. パンチ：

印刷した用紙をパンチするかどうか指定します。パンチする場合は、パンチ位置を選択します。

18. 180 度回転：

画像を 180 度回転させて印刷するかどうか設定します。

- 「しない」：180 度回転しません。
- 「する」：180 度回転します。

19. Orientation 設定：

一部のアプリケーションで印刷時の用紙方向の設定ができないとき指定することができます。データが意図せず回転して出力される場合などは、この設定でデータの原稿方向を指定して印刷してください。

20. バナーページ印刷：

バナーページ印刷を有効にした場合、印刷ジョブの最初にユーザー名、ジョブの印刷日時、ホスト名、ジョブ名が印刷されます。

21. バナーページの給紙方法：

給紙トレイを指定します。

22. バナーページの用紙種類：

使用する用紙の種類を指定します。

23. 製本：

2 ページの原稿を半分に縮小して、用紙を重ねたまま二つ折りにできるような形態で印刷します。たとえば、A4 サイズの原稿は A5 サイズに縮小されて A4 の用紙の左右に製本するようなレイアウトで印刷されます。

製本印刷をする場合は、ページの配列を「右開き/下開き」または「左開き/上開き」に指定します。

印刷する

補足

- アプリケーションによっては印刷の設定が異なります。異なる場合の設定については、それぞれのアプリケーションの使用説明書を参照してください。
- Mac OS X の印刷手順は OS のバージョンによって異なる場合があります。本書では Mac OS X 10.6 を例に説明しています。

モノクロで印刷する

重要

- 白黒の画像をカラー印刷した場合、黒色やグレーの部分は CMY のトナーを使って印刷されることがあります。よりはっきりした黒色を再現するために、白黒の画像はモノクロで印刷することをお勧めします。
- アプリケーションでモノクロ印刷を指定したときは、必ず［プリンタの機能］の［カラー選択：］を「モノクロ」に設定してください。設定しないと、黒色の部分が CMY のトナーを使って印刷されることがあります。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。
3. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
4. ［カラー選択：］を「モノクロ」に設定します。
5. 印刷を実行します。

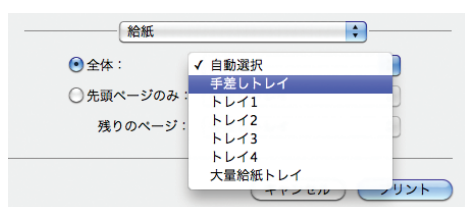
印刷品質を調整して印刷する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。
3. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
4. 設定する項目の設定値を変更します。
5. 印刷を実行します。

補足

- 各調整項目については、P.19「プリンタの機能」を参照してください。

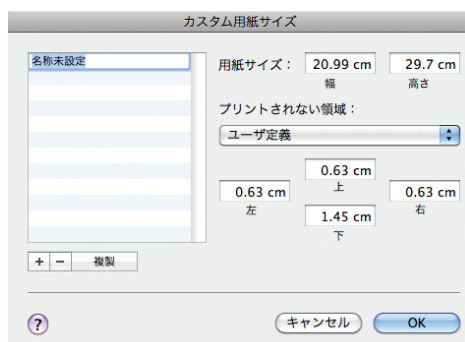
特殊な用紙に印刷する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。
3. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
4. ［用紙の種類：］で使用する用紙の種類を設定します。
5. ポップアップメニューから［給紙］または［給紙方法］をクリックします。
6. 給紙先のトレイを設定します。

7. 印刷を実行します。

不定形サイズの用紙に印刷する（カスタム用紙サイズ）

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。
3. ［用紙サイズ：］から［カスタムサイズを管理］または［カスタム用紙サイズ］を選択します。

   Mac OS X 10.4 以前の場合は、［設定：］から［カスタム用紙サイズ］をクリックします。
4. ［+］または［新規］をクリックし、カスタム用紙サイズの登録名を入力します。

   既存の設定を変更する場合は、登録名をクリックします。

5. **［ページサイズ：］または［用紙サイズ：］に、任意のサイズを入力します。**

6. **用紙の四辺から余白となる数値を入力します。**

通常は、［プリントされない領域：］または［プリンタの余白：］のポップアップメニューから、お使いの機種を選択します。お使いの機種の設定値が反映されます。

7. **［OK］をクリックします。**

Mac OS X 10.4 以前の場合は、［保存］をクリックし、［OK］をクリックします。

8. **印刷を実行します。**

補足

- カスタム用紙サイズは複数登録できます。
- カスタム用紙サイズで印刷したときは、用紙サイズの計算誤差により、用紙サイズのミスマッチが発生する場合があります。

部単位で印刷する（ソート）

1. **印刷するファイルを開きます。**

2. **［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。**

Mac OS X 10.5/10.6 の場合は、手順 4 に進みます。

3. **ポップアップメニューから［印刷部数と印刷ページ］または［用紙処理］をクリックします。**

4. **部数を設定し、［丁合い］をクリックします。**

5. **印刷を実行します。**

補足

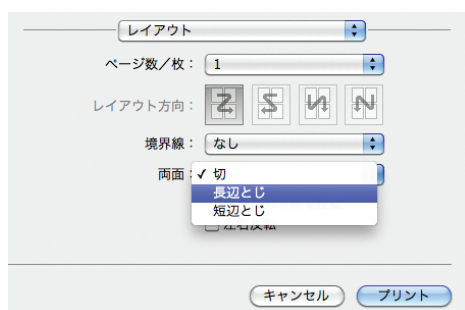
- ソートする場合は、アプリケーション側の部単位のチェックを外してください。
- 排紙先にシフト機能がある場合は、シフトソートされます。

用紙の両面に印刷する

1. **印刷するファイルを開きます。**

2. **［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。**

3. **ポップアップメニューから［レイアウト］をクリックします。**

4. ［両面：］または［両面プリント：］から、［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

5. 印刷を実行します。

ステープルする

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。
3. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
4. ［機能セット：］から［General 3］を選択します。

   ［機能セット：］の項目名は Mac OS X のバージョンによって異なります。
5. ［排出方法：］で排紙先のトレイを設定します。
6. ［ステープル：］でステープル位置を設定します。
7. 印刷を実行します。

補足

- ステープルは、オプションのフィニッシャーを装着しているときに使用できます。

パンチする

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。
3. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
4. ［機能セット：］から［General 3］を選択します。

   ［機能セット：］の項目名は Mac OS X のバージョンによって異なります。
5. ［排出方法：］で排紙先のトレイを設定します。
6. ［パンチ：］でパンチ位置を設定します。

7. 印刷を実行します。

- パンチは、オプションのフィニッシャーおよびパンチユニットを装着しているときに使用できます。

蓄積文書を印刷する

本機に蓄積する文書の印刷方法を説明します。

重要

- **PageMaker など、独自のドライバーを使用するアプリケーションでは、この機能は使用できません。**

試し印刷

複数部数印刷するときなど、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認したあとに操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防止できます。

詳しくは、P.28「試し印刷」を参照してください。

機密印刷

ネットワークでプリンターを共有しているとき、他人に見られたくない文書を印刷する場合などに有効な機能です。機密印刷を使用すると、本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなるので、他人に見られる心配がありません。

詳しくは、P.28「機密印刷」を参照してください。

保留印刷

本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷できます。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。また、文書の印刷時刻を指定できます。指定した時刻になると、自動的に印刷されます。

詳しくは、P.29「保留印刷」を参照してください。

保存文書

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷できます。印刷終了後も文書が消去されないので、繰り返し印刷するときなどに有効です。

詳しくは、P.29「プリンターに保存」または P.30「保存して印刷」を参照してください。

ドキュメントボックス

ドキュメントボックスを利用するとパソコンで作成した原稿を本機のハードディスクに蓄積し、本機の操作だけで必要なときに必要な条件（両面印刷、ステープルなど）で印刷ができます。

詳しくは、P.30「ドキュメントボックス」を参照してください。

補足

- 操作部の操作については、『プリンター』「蓄積文書を印刷する」や『コピー/ドキュメントボックス』「ドキュメントボックスを使う」を参照してください。
- 本機に蓄積できる文書数については、『プリンター』「蓄積文書を印刷する」を参照してください。

3

試し印刷

まず 1 部だけ印刷し、その印刷結果を確認後、操作部または Web Image Monitor から任意の部数を設定して印刷できます。

1. **印刷するファイルを開きます。**
2. **［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。**
3. **ポップアップメニューから［蓄積/履歴］をクリックします。**
4. **［印刷方法：］を「試し印刷」に設定します。**
5. **［ユーザー ID］ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。**
6. **印刷部数を 2 部以上に設定して、印刷を実行します。**

   まずデータが 1 部だけ印刷されます。
7. **機器の操作部で任意の部数を指定し、印刷を実行します。**

機密印刷

パスワードを設定して印刷できます。

1. **印刷するファイルを開きます。**
2. **［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。**
3. **ポップアップメニューから［蓄積/履歴］をクリックします。**
4. **［印刷方法：］を「機密印刷」に設定します。**
5. **［ユーザー ID：］ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。**
6. **［パスワード：］ボックスに、パスワードを入力します。**

   パスワードは、半角数字 4 から 8 文字で設定してください。
7. **印刷を実行します。**

   ここでは印刷は行われず、印刷データは本機の内部に蓄積されます。

8. 機器の操作部でパスワードを入力し、印刷を実行します。

保留印刷

印刷したい文書を一時的に蓄積し、あとから操作部または Web Image Monitor で印刷できます。

1. 印刷するファイルを開きます。

2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。

3. ポップアップメニューから［蓄積/履歴］をクリックします。

4. ［印刷方法：］を「保留印刷」を設定します。

5. ［ユーザー ID］ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。

蓄積する文書に、半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

6. 文書の印刷時刻を指定する場合は、［印刷時刻指定］チェックボックスにチェックを付け、時刻を指定します。

指定できる印刷時刻は 24 時間制です。

7. 印刷を実行します。

ここでは印刷は行われず、印刷データは本機の内部に蓄積されます。

8. 機器の操作部で印刷を実行します。

補足

- 指定した印刷時刻と本機の内蔵タイマーとに数分の差しかないときは、すぐに印刷される場合があります。
- 本機の主電源がオフのときは、指定した時刻に文書は印刷されません。主電源をオンにしたときに、指定時刻を過ぎた文書を印刷するには、［プリンター初期設定］の［システム設定］タブにある［主電源 Off 時の未処理文書］を［主電源 On で印刷する］に設定してください。詳しくは、『プリンター』「システム設定」を参照してください。

プリンターに保存

印刷したい文書を機器に蓄積し、必要なときに操作部または Web Image Monitor で印刷できます。

1. 印刷するファイルを開きます。

2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。

3. ポップアップメニューから［蓄積/履歴］をクリックします。

4. ［印刷方法：］を「プリンターに保存」に選択。
5. ［ユーザー ID］ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。

   蓄積する文書に、半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

   蓄積する文書に、半角数字 4～8 文字で任意のパスワードを設定できます。
6. 印刷を実行します。

   ここでは印刷は行われず、印刷データは本機の内部に蓄積されます。
7. 機器の操作部で印刷を実行します。

保存して印刷

文書を印刷しながら同時に機器に蓄積し、必要なときに操作部または Web Image Monitor から印刷できます。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。
3. ポップアップメニューから［蓄積/履歴］をクリックします。
4. ［印刷方法：］を「保存して印刷」に設定します。
5. ［ユーザー ID］ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。

   蓄積する文書に、半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

   蓄積する文書に、半角数字 4 から 8 文字で任意のパスワードを設定できます。
6. 印刷を実行します。

   1 部目がすぐに印刷され、印刷データは本機の内部に蓄積されます。
7. 機器の操作部で印刷を実行します。

ドキュメントボックス

ドキュメントボックスとは、印刷したい文書などを機器の HDD に蓄積しておき、後から文書の組み合わせや加工の指定をして印刷する機能です。

ここでは、印刷データをパソコンからドキュメントボックスへ蓄積する方法を説明します。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。
3. ポップアップメニューから［蓄積/履歴］をクリックします。

4. ［印刷方法：］を「ドキュメントボックス」に設定します。

5. ［ユーザー ID］ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。

ここで入力したユーザー ID は、機器の操作部に「ユーザー名」として表示されます。

蓄積する文書に、半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

蓄積する文書に、半角数字 4〜8 文字以内で任意のパスワードを設定できます。

6. 印刷を実行します。

補足

- 操作部の操作については、『コピー/ドキュメントボックス』「ドキュメントボックスを使う」を参照してください。

4. 付録

困ったときには

思いどおりに印刷できないときの対処方法を説明します。

Windows をお使いのとき

ネットワーク環境でデータを受信しているのに、印刷できない。

［デバイスの設定］タブの［ジョブの前に Ctrl+D を送信］と［ジョブの後に Ctrl+D を送信］で、それぞれ［いいえ］に設置してください。

Macintosh をお使いのとき

印刷ダイアログが表示されるまでに時間がかかる。

Macintosh のシステム全体の処理速度により、印刷ダイアログの表示に時間がかかる場合があります。

G3/G4 Macintosh からスイッチングハブを経由して印刷したときに時間がかかる。

以下のように設定を変更してください。

- 本機とスイッチングハブの、イーサネットの通信速度を合わせてください。
- または、本機のイーサネットの通信速度を、「100Mbps 全二重固定」または「100Mbps 半二重固定」に設定してください。

イーサネット速度の設定方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。

Windows、Macintosh をお使いのとき

接続したオプションが印刷設定画面で選択できない。

オプションが正しく設定されているか確認してください。

Windows の場合：

1. プリンターのプロパティを開きます。
2. ［オプション構成］タブをクリックします。
3. ［オプション選択］グループで、接続しているオプションが正しく設定されているか確認します。
4. 設定を変更したときは、［適用］をクリックします。
5. ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Macintosh の場合（Mac OS X 10.6.x）：

1. システム環境設定を起動します。
2. ［プリントとファクス］をクリックします。
3. お使いの機器を選択し、［オプションとサプライ］をクリックします。

4. ［ドライバ］をクリックします。
5. 接続しているオプションが正しく設定されているか確認します。
6. 設定を変更したときは、［OK］をクリックします。
7. ［プリントとファクス］ウィンドウを閉じます。

補足

- オプションの設定については、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙を設定する」、「オプション構成を設定する」を参照してください。

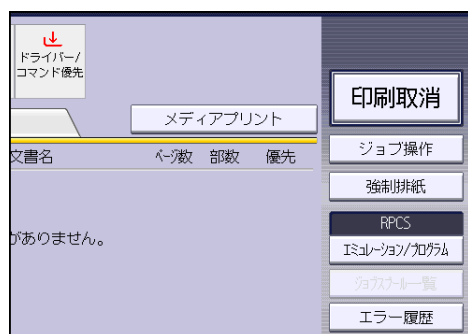
バナーページ印刷時のご注意

- 通常印刷を指定したときのみ有効です。蓄積文書の印刷には対応しておりません。
- バナーページに印刷されるジョブの印刷日時は、ジョブ履歴の日時と差異が発生する場合があります。また、エラーなどで印刷が中断され、再開までに時間が空いた場合も、バナーページに印刷されている印刷日時と実際の印刷日時に差異が発生する場合があります。
- 印刷を中止するときは、バナーページと印刷ジョブそれぞれに印刷中止の操作が必要です。
- 印刷後は、バナーページと印刷ジョブそれぞれのジョブ履歴が記録されます。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる用紙サイズ、用紙種類で印刷されることがあります。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる排紙先に印刷されることがあります。
- バナーページに印刷文字列に半角英数字以外が使用されていると、文字化けする場合があります。
- 使用するアプリケーションによっては、複数部数を印刷するときに、部数分のバナーページが印刷されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブに向きやサイズの異なるページが混在する場合、向きやサイズが切り替わるたびにページの前にバナーページが挿入されることがあります。例えば、Microsoft Word for Mac をお使いの場合、原稿サイズが混在した文書、あるいは原稿方向が混在した文書を印刷すると、原稿サイズや方向が変わったところで印刷ジョブが分割され、分割されたジョブごとにバナーページが挿入されます。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブの中に複数のジョブがあると、ジョブごとにバナーページが挿入されることがあります。例えば、表計算ソフトをお使いの場合、1 回の印刷で複数のシートを指定すると、複数の印刷ジョブに分割され、分割されたジョブごとにバナーページが挿入されることがあります。

PS 情報リストを印刷する

PS 情報リストを印刷すると、プリンターの設定と搭載されたフォントの一覧を確認できます。現在の設定とフォントの一覧を印刷する方法は以下のとおりです。

エミュレーションが PS3 になっていることを確認してから、操作してください。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押します。
2. ［エミュレーション／プログラム］を押します。

3. ［呼出］を押してエミュレーションを切り替えます。
4. ［PS3］を押して、［OK］を押します。
5. ［初期設定／カウンター／問合せ情報］キーを押します。
6. ［プリンター初期設定］を押します。
7. ［テスト印刷］タブを押し、［PS 情報リスト］を押します。

   PS 情報リストが印刷されます。
8. ［終了］を 2 回押します。

PS 情報リストの見かた

PS 情報リストに印刷される項目を示します。

1. **Adobe PostScript 3 リファレンス**

   PostScript のバージョン、PS ファームのバージョン、プリンター名、プリンターのタイプ、AppleTalk ゾーンが印刷されます。

2. **メモリ/HDD 状態**

   プリンターの総 VM 容量、空き VM 容量、フォント HDD 容量、空き HDD 容量が印刷されます。

3. **搭載フォント**

   プリンターに搭載されたフォントの一覧が表示されます。

4. **プリンタ設定**

   ジョブタイムアウト、ウェイトタイムアウト、印刷方向自動検知などの設定が印刷されます。